

件名	地区	キーワード	内容	対応	担当部	担当課
城内のキンケイギク	城西	公園	城内に今年もキンケイギクがたくさん咲きはじめた。今年は特に動物園跡地上の斜面にたくさん咲いている。あれはおそらく業者の靴の裏に種子がついていて、撒き散らかしているのだと思う。キンケイギクはひとつの花に8万個の種子がつくと言われている。毎年言っているが、刈り取る時期を早くしなければならない。種子がついてから刈り取っても遅い。今では本島でもキンケイギクがたくさん生えている。また住んでいる中府町でも多く見られるようになった。対応が遅すぎる。	たしかに土器川の河川敷などキンケイギクだらけになっています。城内の刈り取りも時期を見定めて実施していると聞いていますが、今回のことも担当の都市計画課に伝えます。業者が繁殖の原因となっている可能性は否定できません。斜面などの作業の前には靴の裏を洗うことも考えなければいけないのかもしれない。市では広報やホームページでもキンケイギクの防除について啓発も行っているのので、そのような取り組みを継続して行います。	生活環境部	環境安全課
塗装業者の環境問題	土器		塗装業者が敷地内にペンキの缶を山積みにしており、敷地外やため池に流出しているのではないか、と近くに住む方から相談を受けた。当該業者にも、この保管の仕方は問題があるのではないか、市から指導があるかもしれない、と話している。市で確認をお願いする。	(6/9 環境安全課により確認) 確かにいただいた写真のとおり状態で空き缶が保管されていました。しかし、敷地外や池に流出している様子はなく、現状では指導は難しいと判断しました。もし流出が認められるような状態であれば、再度連絡をお願いします。その際にはすぐに現場を確認し、指導にあたります。	生活環境部	環境安全課
産業廃棄物	城乾	ゴミ	4年ほど前から海岸や道路の清掃をしている。以前から海のほうに何かわからないが、ポリエチレンのような小さな丸い物質が大量に流れてきている。海から流れていると思っていたが、西汐入側の藤井学園ユリ-カ前のオイルフェンスに大量に溜まっていることがわかった。川の上流の事業所が廃棄しているに違いないと思っている。県では、2級河川なので県が管理するが、ゴミを捨てているのは丸亀市民なのだから、市役所に言うべきとのことである。県が管理する川を掃除しているのだから、腰までの長靴を買ってくれと言っても相手にしてもらえない。何もかも自分がただでやれば良いと思っている。今は田植えのシーズンで水量が多く、農家は平気で草を投げ捨てる。	たいへんありがたく思っています。ここまでやってくれるようになったきっかけは何ですか。⇒ 住んでいる福島町の自治会でみなと公園などを掃除していたが、たいしたことはしていない。また8月の花火ではこのあたりはゴミだらけになるし、市外からたくさんの人が花火を見に来てくれるのにゴミが落ちていたり、雑草が伸びていたりすると失礼になる。面談後、西汐入川に行くと、さっそく清掃をしてくれていた。正体不明の物質は山のようにあった。上流でも目立った事業所はなかったが、農地の端に少し散らばっていた。調べてみるとコーティング肥料の硫黄被覆(コーティング)であろうと思われる。これは成分解性の物質で土壌で1年ほどで完全に分解されるようである。しかし、河川流出は河川を汚すことになるので、流出させないようにとの注意書きがある。(農業委員会に本件を報告し、注意喚起などを依頼する。)	生活環境部	環境安全課
西汐入川の緑の液体	城乾		最近、西汐入川を掃除していると、オイルフェンスのあたりで、緑色の液体と個体が浮かんでいる。絵の具のように見えるが、違うようである。どこかが流しているのだろうか。(ペットボトルに入れて見せてくれた)	これはアオコです。気温が上がるとため池やお城の堀はこのアオコでいっぱいになります。西汐入川はため池の水が流れてきているので、アオコもいっしょに流れてきているのだと思います。これは夏はどうしようもできませんので、掃除せずにそのまま流してください。	都市整備部	建設課
蛙の減少	城坤	農業漁業	最近、蛙の鳴き声が全然聞こえなくなったと市民の方から聞いた。本当に減っているのか。	確かに農村部では10年位前までは、夜に蛙の鳴き声がうるさくて眠れないくらいでした。減っているのは間違いないと思うが、調べて見ます。【環境省のHPなどより】カエルなどの両生類の生息障害の要因として、圃場整備などにより、産卵場所がない、子ガエルが上陸できない、隠れ場所がない、越冬場所がない、移動が阻害される、繁殖地へ戻る目安がなくなる、などが考えられる。農薬は規定の量であればオタマジャクシの個体数に重大な影響を与える可能性は低い。また世界各地で「カエルツボカビ症」の感染による両生類の減少が見られ、日本でも確認されている。	産業文化部	農林水産課

件名	地区	キーワード	内容	対応	担当部	担当課
西汐入川のゴミ	城乾		西汐入川に流れている小さな白い玉がコーティング肥料の殻で、1年以上かけて分解されるとことはわかったが、それは環境に影響はないのか。	農業や肥料の河川への流出が環境汚染につながるということは確かに指摘されています。 コーティング肥料の殻は企業のHPでも河川にはできるだけ流出しないように使用するよう注意書きをしているとあったので、農業委員会から機会があれば注意喚起してもらおうこととしました。	生活環境部	環境安全課
西汐入川のゴミ	城乾		西汐入川に流れている大量のゴミがコーティング肥料の殻だということはわかった。しかしこの春からすでにゴミ袋で500袋以上拾って捨てている。環境にいいとは思えない。	コーティング肥料の河川汚染について肥料製造企業に問い合わせたところ、以下の回答でした。 (S化学㈱回答) コーティング肥料(被覆肥料)の殻に関するご質問ですが、ご指摘のように殻は分解・崩壊するのにある程度時間がかかります。そこで、圃場外へ流出を抑え圃場内での分解・崩壊を促進させるため、肥料袋等に「河川に流出しないようにしてください」との注意書きを記載しています。この注意書きは、どのメーカーの製品にも記載されています。 被覆肥料の殻の残留については10年以上前から環境保護団体のjean等の指摘を受け、業界を挙げて改善に取り組んでいるところです。 その一環として、できるだけ早く分解・崩壊する被覆資材に替えるべく各企業が努力しています。一方、被覆肥料は肥料取締法で認められている肥料で、肥料成分の利用効率を向上するなど、環境に良い肥料とも言われています。その一環として、できるだけ早く分解・崩壊する被覆資材に替えるべく各企業が努力しています。一方、被覆肥料は肥料取締法で認められている肥料で、肥料成分の利用効率を向上するなど、環境に良い肥料とも言われています。 メーカーとして改善に取り組んでいることにご理解いただきたくお願いします。メーカーとして改善に取り組んでいることにご理解いただきたくお願いします。 このように法的に認められているが、メーカーでも環境に影響がないように努力をしているということである。また農業委員会でも、できるだけ河川に流出しないように機会を見て周知してもらおう依頼している。 ⇒ 今回のように、市でできることをしてくれて、納得できる説明をしてくれればうれしく思う。	農業委員会	
港湾清掃	城乾	ゴミ	この三連休で太助燈籠西側の港湾を掃除し、ボランティア袋で40袋集めたので、収集をお願いします。 しかし、東の新堀港ではさらに多くのゴミがあり、おそらく80袋以上になると思う。さすがにひとりでは難しい。ゴミは拾って置いておくので、市か県で収集してくれないか。四国土建がよく清掃をしているが、ゴミをそのままにして何日も置いている。聞いてみたことがあるが、そのままトラックに積むと錆びるから、ということである。置いておくと風でまたゴミが散らかる。トラックにはブルーシートを敷けばいいと思うが、もうすぐ花火なのできれいにしておきたい。	いつもありがとうございます。 6月には港湾清掃のイベントを行い、市民も参加し清掃を行いました。 港湾管理は県であるので、建設課から県にお願いしてみます。 最近是非常に暑いので、熱中症に注意してください。	都市整備部	建設課
ヒアリ	郡家		今日、分からないですがヒアリの様な虫を発見確保しました。相談場所はこちらでよろしいでしょうか。保健所にもメールしています	農林水産課から県のみどり保全課に写真を転送し、確認してもらったところ、ほぼヒアリではないと思われる、とのことですが、念のため横からとった写真も送っていただけますでしょうか。	産業文化部	農林水産課

件名	地区	キーワード	内容	対応	担当部	担当課
土器川河川敷のゴミ		ゴミ	<p>本日もまた、土器川河川敷で珍しい野鳥を一挙に4羽もみた。まさに、この河川敷にはたくさんの野鳥が訪れているのだ。何十年もの長い期間、この川を眺めてきたがまったく気がつかなかった。FBをはじめ、まだ一年がこないのだが 最初のころは近くの風景をスケッチしたくて外へ出るようになった。そのうち、丸亀周辺の景色とともに野鳥の撮影にも興味を持つようになった。このことで、ながら愛犬の老衰(死亡)とともに散歩も中断して急速に脚力が衰えていってしまっていた自分に足の筋肉が次第に戻ってきた。小鳥を見つけては、いやがうえにも近づくために歩いていたのだ。この「とりバカ日誌」は、わたしに健康まで取り戻してくれていた。うれしいっらない。だが、この土器川にゴミが大量に放置されていることも同時に知った。ひどいところでは、軽四一杯分ほどのスチール缶が溜まりに溜まっているところもある。地元自治会等がクリーン作戦などとやっているようだが、おおよそぼつかない。管轄は丸亀市と国土交通省なのだろうけど、残念だが、それなりのアクションをおこなっているような気配は感じられない。わたしに、ささやかな健康をもたらしてくれている野鳥観察。昨日から、手の届く範囲でしかないのだが、せめてビニールとかスチール缶のなにかだけでも、撮影時に拾って持ち帰ることにした。まさに貧者の一灯、気休めでしかないのだが、ほんのお礼の気持ちとして続けていきたいと思っています。別段、回答は必要ありません。何かの参考にしてくださればいいです。</p> <p>追記～青の山から、お城を含めた丸亀市街地の夜景を紹介しようと思いましたが、雑木や雑草におおわれて撮影不可能でした。どこかに一箇所でもいいですから青の山から丸亀市街を望める空間がほしいです。</p>	<p>FB拝見いたしました。自然を愛する気持ちがしっかりと伝わりました。土器川をはじめとして、市内の様々な場所でゴミが投棄され、市でも大きな問題ととらえ、その対策に取り組んでおります。土器川河川敷のごみを拾っていただいているとのこと、感謝いたします。</p> <p>まちをより一層きれいにするため、市民・事業者・市が共に協力し次の世代により良い環境を引き継ぐことが必要であると考え、丸亀市では、「きれなまち丸亀」の実現に向けて様々な施策に取り組んでいます。市や地域コミュニティの取り組みを一部ご紹介いたします。(添付ファイルをご覧ください。)</p> <p>また野鳥につきましては、丸亀版の環境白書といえる「まるがめの環境」を毎年作成しています。その中で市内のため池や山に生息する野鳥を紹介しています。平成28年度版では綾歌森林公園と土器町宮池での観察の結果を掲載しています。平成27年度版では土器川生物公園・飯野山と土器町宮池・川古池での観察の結果を掲載しています。</p> <p>昨年からの日に「青ノ山DAYハイキング」を開催しておりますが、青ノ山山頂の公衆トイレの改修を行うこととしており、また青ノ山山頂上から市街地を展望できる場所については、保安林であるため展望のための伐採は法律上できないのですが、市民からの要望も多く、一部丸亀城が見える程度の枝打ちは昨年度にいたしました。(あまり目立つように切ると違法行為と指摘されますので、大々的にはできませんのでご理解ください。)</p> <p>ご意見をいただき、ありがとうございました。</p>	市長公室	秘書広報課
飯山総合学習センターでの農薬散布	飯山北		<p>飯山総合学習センター玄関付近の植え込みにスミチオン散布の看板がかかっていることから、農薬散布の件を知りました。看板をかけてもらえるのはいいですが、看板の記載に問題がありました。看板にはスミチオンは防虫剤、殺菌剤とかかれてありましたが、スミチオンは農薬(殺虫剤)です。殺虫剤という言葉を使わず、あえて殺菌剤や防虫剤など、危険度を下げようという記載には問題があります。嘘の記載で来館者の散布に対する問題意識をそらそうとする意図があるようにも見受けられます。またスミチオンのような有機リン系農薬をこんな子供たちの多く通る場所で散布するなど、子供たちの健康への配慮があまりに欠如しているといえましょう。</p> <p>このことに対し学習センターの管理者の方に問い合わせました。まず発生した害虫はミノムシだとのこと。またミノムシに対してなぜスミチオンを散布したのかという問いに対しては「業者がそういったから」とのこと。ミノムシが発生するとなぜ困るのかという問いに対しては「葉が食べられるから」とのこと。ミノムシは人をさしたりしません。また周囲がアスファルトに覆われた場所ではそれほど大量発生しないと思われそうです。</p> <p>なにより人に害を与えないミノガに対し、有機リン系農薬スミチオンを散布するなど、子供たちを危険に去らず愚か極まりない行為です。施設の都合のみを優先し、子供たちへの健康問題をまるで無視した、市民を裏切る行為と言えます。来訪者の安全に気を配らなければならない立場の人間が、来訪者を危険にさらしています。税金の無駄遣いとはまさにこのことでもあります。</p> <p>市民活動推進課の説明では今後の対応に信頼がもてません。市民の安全を考えなければならない立場の人間が、それをしないで農薬散布をしたがるというのはどういうわけでしょうか。市民としては、当然ながら市民の安全を第一に考えた対応をしてもらいたいと思います。</p> <p>また害虫の今後の発生状況により対応を考えていくとのことですが、まず学習センター開館以来、大量発生した害虫名を教えてください。今後起こりうる害虫の発生具合、被害状況の予測に基づいた対応方法を教えてください。</p> <p>最後に結論として、今後の学習センターや図書館などの施設において、害虫が発生した場合は、病害虫の早期発見とともに、剪定や捕殺で対応することとし、今後一切、子供たちの多く訪れる場所で農薬を使用しないと約束をお願いします。</p>	<p>まず農薬を使用したことを周知する表示看板についてですが、ご指摘のとおりスミチオンは「殺虫剤」として使われ、法に基づき登録された農薬ですので、「防虫剤を使用しています」との表示は明らかに誤りです。今後、こうした内容については、思わぬ事故につながる可能性もあるため、正確に表示するよう厳重に指導いたします。次に、今後の樹木管理についてですが、丸亀市には多くの公共施設があり、子どもからお年寄りまで、その目的に応じて様々な人に利用していただいています。そして、こうした施設は、単に特定の人々の目的を満たすだけでなく、多くの方々の憩いの場にもなり得ることから、普段から敷地内の樹木もできるだけ健全な状態で管理するよう努めております。今回の農薬を使用した措置そのものが妥当であったかどうかは、意見が分かれるところですが、いずれにいたしましても、施設を安全かつ快適に利用していただきたい思いは同じであると存じます。今後とも、農林水産省による通知「住宅地等における農薬使用について」の内容を遵守し、まずは、病害虫被害や雑草発生等の早期発見と剪定・捕殺などの物理的防除に努めます。そして、やむを得ず農薬の使用が必要となった際には、最小限の散布とし、表示 看板の設置等、利用者や周辺住民への周知に努めます。以上のことについては、より一層徹底のうえ適正管理に努めるよう、指定管理者および担当課に対し指示しておきますので、ご理解いただけますようお願い申し上げます。</p>	生活環境部	市民活動推進課

件名	地区	キーワード	内容	対応	担当部	担当課
龍王出水保護のお願い	飯山北		<p>香川県は昔から溜池以外にも出水と呼ばれる湧水池がたくさんあります。川西町にある龍王出水は、県内において最高の生態環境が残っている場所です。しかし今や香川県民でも出水の存在を知る者もほとんどなくなり、龍王出水もその素晴らしさを誰も知ることなく、護岸工事の魔の手が入ろうとしております。龍王出水は水質もよく、生態系も破壊されておらず、丸亀市・香川県最後の秘境と呼ぶに相応しい素晴らしい場所です。龍王出水には絶滅危惧種の植物も数種生育しており、それ以外は詳しい調査はしていませんが、動植物共に他にも希少種が生息していると考えられます。</p> <p>この出水から流れ出る小川も素晴らしいまるで天国のような美しい小川でしたが、今年ついに全てが破壊され、全面コンクリート張りになってしまいました。龍王出水も時間の問題です。なのでどうかお願いします。龍王出水だけはそのまま護岸工事されずに残すことはできませんでしょうか。こんな美しく、生き物が自由に気持ちよく生きられる環境は他にありません。できれば丸亀市の文化財に指定し、龍王出水の周囲護岸を工事で固めることなく、今のままの自然護岸で後世に残していただきたいと思えます。どうか丸亀市の文化財に指定をお願いします。ライブカメラを水中に設置して、市役所などでその映像を見られるようにしたり、HPで公開したりしてもいいと思えます。市内の出水にスポットライトをあてて、街の活性化にしてみたいかと思えます。</p> <p>■私がざっと目視で確認した動植物はだいたい次のとおりです。他にもまだあると思えます。</p> <p>植物：リンア（鹿角苔）、ウィローモス、カワゴケ類、カワモズク類、等 魚類：カマツカ、スジシマドジョウ、ヨシノボリ類、カワムツ、オイカワ？、フナ、鯉、ナマズ、その他等 昆虫類：ヒドラ、ヌマエビ、ハグロトンボ、プラナリア、トビケラの仲間、等 鳥類：ゴイサギ</p>	<p>【文化財保護室回答】</p> <p>指定文化財となるためには、歴史的な由緒がある場合、例えば歴史上の重要人物が関わったものや歴史的に価値あるものを指定します。例えば屋島合戦の源氏の陣跡にあったとされるとか、城下にある江戸時代初期の水道遺跡などです。龍王出水は「歴史的な価値」よりもむしろ自然環境や景観としての価値が高く、その面で保存していくべきものであり、文化財として保護することは難しいと思えます。早速出水を見に行きましたが、水は澄んでおり、ハグロトンボがたくさん飛んでいる自然環境豊かな場所であることを改めて認識いたしました。管理者の方々のご理解に努められ、このままの状況で保護されていくことを望みます。</p> <p>【農林水産課回答】</p> <p>龍王出水を含む丸亀市内の出水の多くは、昔から農業用水として利用され、地元水利組合がそれぞれの地区で管理を行っているものであります。昨年度までに行った水路工事については、龍王出水から流れ出る農業用水の安定供給と、水路の維持管理を安全かつ容易に行うために、管理者である地元水利組合が実施したもので、現時点では、これ以上の出水周辺工事を行う旨の相談はございません。市としても、何度も現地に足を運び龍王出水の自然環境の素晴らしさは十分認識しているところであり、地元水利組合としても同様であります。しかしながら、将来的に農業用の利水目的や維持管理の観点から、地元水利組合による工事をどうしても実施せざるを得ない場合、市では環境に配慮した施工方法の検討等を行うこととなりますが、管理者である地元水利組合に対しまして現在の自然環境と景観が保たれますよう、現状の保存も含めて丁寧な協力依頼を行ってまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。</p>	教育部	(教)総務課
土器川の掃除	土器	ゴミ	<p>土器川があんなに汚いの、何かしようと思いませんか。私は散乱しているゴミを拾いたいです。小学生だったころ私は、土器川に一人でゴミ拾いをしに行くのはさすがに自分でも危ないと感じたので、大体自分の家の周辺1.2キロ以内ぐらいのゴミ拾いをしていました。ゴミ拾いをすると、いつも通っている道が見違えるほど綺麗になっていきました。その時の感動と、うれしさは今でも覚えています。でもいつからか、「私は何のために、誰のためにゴミ拾いをやっているのだろうか.....と思うようになりました。どうせ私がいまこの場所のゴミを捨てたところで、またきつと誰かが捨てるだろうし、このゴミを拾って帰ってくると家族がゴミの処理に追われてストレスに感じるのではないか.....」とかんじ中学に入るところにはもうやめていました。けれど今も、ネット、雑誌、などで目にする政治問題よりも、環境問題を重視しなければならないということ。そのことを見たり聞いたりして、私は改めて、ゴミ拾いをしたいと思えました。誰のために、何故、またどうせゴミが捨てられると分かっているのに、またゴミ拾いをやりたいと思えました。私たちは海と、山という両親から生まれてきました。私が生まれ育ったこの香川、いや丸亀市から綺麗にしていきたいです。どうか一緒にゴミ拾いをしてくれませんか。両親の海と山、またその中で暮らす動物や植物が泣いています。少しでも、ほんの少しでもいいんです、助けたいんです。お返事待ってます。</p>	<p>A様の自然を愛する気持ちがしっかりと伝わりました。土器川をはじめとして、市内の様々な場所でゴミが投棄され、市でも大きな問題ととらえ、その対策に取り組んでおります。まちをより一層きれいにするため、市民・事業者・市が共に協力し次の世代により良い環境を引き継ぐことが必要であると考え、丸亀市では、「きれいなまち丸亀」の実現に向けて様々な施策に取り組んでいます。市や地域コミュニティの取り組みを一部ご紹介します。(添付ファイルをご覧ください。)県内で唯一の一級河川である土器川は、市内の多くの地域にわたり流れています。そして各地域のコミュニティなどでは、A様と同じ想いの方々協力して清掃活動やキャンペーン活動を行っています。自然の中にゴミを捨てる人は、残念ながら後を絶えませんが、自然を守りたい、きれいになりたいと思っている人も大勢いらっしゃいます。土器町にお住いの方ですので、一度土器コミュニティセンターを訪ねられてはいかがでしょうか。そして地域で行っている清掃活動に、お知り合いの方をお誘いのうえ、参加なされてはいかがでしょうか。</p> <p>9月は丸亀市環境美化月間と定め、広報丸亀9月号でも特集を組んでおります。「丸亀市まちをきれいにする条例」にも定めていますが、まちをきれいにするためには、行政・市民・地域団体が協力して行動する必要があります。</p> <p>丸亀市役所でも、丸亀市を住みよいきれいなまちにするためにできる限り努めてまいりますので、A様も地域の方々協力して、ふるさと丸亀に住む人々にとっても、その中に暮らす植物や動物にとっても住みやすい環境を作ってくださいますようお願いいたします。</p> <p>ご意見をいただき、ありがとうございました。</p>	生活環境部	環境安全課

件名	地区	キーワード	内容	対応	担当部	担当課
市の施設での農薬使用	飯山北		先週も市民ひろばで農薬を散布していて、知り合いが聞くと「大丈夫です」と簡単に言われた。 以前に飯山図書館の件でもお話をさせていただいたが、農薬を散布しているとの看板はあるが、小さな子どもでは読めないし、まず読まない。小さな子どもが絶対に触れない状態にしておかなければならない。うちの子どもが小さいときに農薬のついた葉に触ってかぶれてパニックになったこともある。 丸亀城での農薬散布時にもお話したが、「半日から1日で乾くから大丈夫」と言われたが、乾いたから農薬の効果が消えるわけではない。農薬によっては田の中であれば、半減期は半年ほどで、残留性は非常に強い。 環境省などの資料を参考にして、農薬散布時のチェックリストを作成したので、市が農薬散布する際に利用していただきたい。	(市長との面談) 確かに小さな子どもがいるところでは触れないようにしなければいけないと思います。知識が非常に豊富なので、いろいろな人に教えてあげてください。 田舎では農薬の危険性は農家自身が理解せずに使用していることもあります。業者も社員やアルバイトに危険性を十分に説明せずに仕事をさせているのだと思います。 良いチェックリストを作っていただいたので、参考にさせていただきます。 面談後、これまでご意見をいただいた以下の課宛にチェックリストを送付した。 (都市計画課、市民活動推進課、環境安全課、農林水産課、図書館)	生活環境部	環境安全課
出水	飯山北		県内に数多くある出水の中でも川西町の龍王出水は素晴らしい自然が残されていて、先日県の文化財課に文化財に指定してしていただけるよう要望したところ、返事をいただいた。それによるとまず市のほうから所有者の同意を得て、県に申請をするようにとのことであった。 ぜひ市で検討していただきたい。 真時の出水では、生態系に配慮した工事を行うと説明を受けたが、まったくその効果がなかった。下に砂利を敷いているが、砂利では水の浄化作用があがらない。 水辺の楽校付近の出水では自然のまま整備されている。 できれば龍王出水は天然記念物にしてほしい。そして市役所でそのライブ映像を流すなど、丸亀には素晴らしい環境が残っていることを広く周知することでPRにもなると思う。 菅組の社長は、讃岐の出水群として天然記念物にできないかと話されていた。	(市長との面談) どのような方法でそのような自然を保護できるか考えてみたい。 出水のような自然を大事に思っている人は他にもいると思うので、グループで活動されてもいいのでは。他のコミュニティでも、残された自然のままの出水を市が守らなければならないのではないかと要望する人もいました。	生活環境部	環境安全課
太陽光発電	飯山北		豊島で大きな太陽光発電所ができるということで話題になっている。住民が反対しているのに業者は強引に設置しようとしているようである。これに対して県知事は業者にはしっかりと地元住民に説明をしてほしいと言うだけである。 東日本大震災以降、国が原子力発電所を縮小し、自然エネルギーを推進していることはわかるが、このように強引に進めるような業者は営業停止にするべきではないか。	産業廃棄物の問題がようやく解決し、これから自然豊かな豊島として再生しようとしているときに、このような大規模な太陽光発電所が計画されているということで住民が反対しているという記事は見ました。 太陽光発電所は構造物ではないので開発許可申請が必要ないということで、市町での関与は難しいものです。 知事はたしか、国のガイドラインに沿って、地元住民にしっかりと説明するように事業者に求めたと聞いています。 太陽光発電は国策として、震災以前から国が推進しており、丸亀市内でもたくさんの太陽光発電所が整備され、中には自然環境を破壊していると、地元の方からの意見も聞いています。 企業活動を制限することになるので、規制するのは慎重に行わなければならないが、他の自治体でもガイドラインが必要ではないかとの議論もあるので、ご意見として伺い、市長まで報告いたします。	市長公室	秘書広報課
白鳥	川西		金丸池の白鳥だが、2羽いる中の1羽の足が背中の方に曲がって、羽の上に乗っている。どうにかできないかと、近所の人に言われて、相談に来た。	白鳥が足を背中に乗せている姿はよく見かけますので、心配はいらないと思います。 また、以前に白鳥に釣り糸が絡まって、市に通報があり、職員が助けたことがありましたが、その際にやはり野生の動物を市が助けるのはどうなのか、という問題になり、以後はそのような活動は行わないこととしております。	市長公室	秘書広報課

件名	地区	キーワード	内容	対応	担当部	担当課
生活排水	城坤		ある企業が工場を建設していますが現場事務所の方から海側の道路に水が出ている。たぶん車とか人を洗った水と推定する。工場との申し合わせで生活排水は外に出さないと決まっていると思いますが何故出るのでしょうか。大きなメーカーのすることとは思いません。しっかりと申し入れしてほしい。	工場建設の「生活排水」に対するご意見について、回答いたします。西側の道路へ泥水が流れ出ていることを確認し、市建設課が事業所に対し、このようなことがないように指導いたしました。これに対して、今後流れ出ないように対策を講じ、すでに排出されて側溝部分にある泥についてはバキューム等で回収するとのことでした。	生活環境部	環境安全課
ごみ拾い	土器	ゴミ	土器川のごみ拾い一緒にしてくれませんか？	こちらは丸亀市役所秘書広報課市民相談室です。昨年8月25日にも同様のメールをいただきました。ありがとうございます。丸亀市でもまちをきれいにするために様々な取り組みを行っていますが、残念ながら川や海をはじめ、いたるところにたくさんのゴミが捨てられています。このような現状を少しでも改善しようと、一人でもゴミを捨ててくださる方もいらっしゃいますが、あちこちに散乱する膨大なゴミを少し拾った程度では何も変わらないと無力感にさいなまれる方もおられるかと思えます。前回紹介いたしました土器コミュニティセンターは訪ねられたでしょうか。コミュニティでは年間を通じて土器川などの清掃活動を行っております。また毎年7月初旬には土器川一斉清掃を実施しており、毎回2,500人以上の市民が参加していただいております。また香川県でも「海ごみ対策推進協議会」を設置し、山・川・里・海それぞれの地域で何ができるか考え、行動することの重要性を県民にPRしています。その中での「NPO法人 アーキペラゴ」の活動を紹介します。 http://www.pref.kagawa.lg.jp/kankyokanri/satoumi/umigomi/report/inde x.html まちをきれいにしたいと思っている人の数は、平気でゴミを捨てる人よりもはるかに多いと信じています。そのような同じ目的意識を持った方々と一緒に活動することで、違った喜びを共有できるのではないのでしょうか。こちらは東京の事例ですが、毎朝一人でゴミを拾い続けていた大学生の活動が徐々に広がり、多くの方の共感を得て、大きな動きとなった事例が紹介されています。 http://all62.jp/ecoreport/09/02.html まちをきれいにするためには、行政・市民・地域団体が協力して行動する必要があります。丸亀市役所でも、丸亀市を住みよいきれいなまちにするためにできる限り努めてまいりますので、地域の方々と協力して、住みやすい環境を作ってくださいようをお願いいたします。ご意見をいただき、ありがとうございました。	生活環境部	環境安全課

件名	地区	キーワード	内容	対応	担当部	担当課
ごみ拾い	土器	ゴミ	<p>土器川のごみ拾い一緒にしてくれませんか、という相談で、コミュニティやNPO法人「アーキペラゴ」の活動を紹介したが、アーキペラゴが今月に県主催のビーチクリーンアップ等の活動を行うというチラシをいただいたので、メールで送付した。</p> <p>こちらは丸亀市役所秘書広報課市民相談室です。1月31日に土器川のごみについてのメールをいただきました。その返信メールの中での「NPO法人 アーキペラゴ」の活動を紹介しましたが、2月25日に土器川と沙弥島で、ごみのモニタリング調査を行います。香川県が主催の事業で、申し込みは2月22日までとなっています。チラシを添付しますので、もし興味がありましたら参加してみたいかでしょうか。</p>	<p>お返事ありがとうございました。文面を読んで、ごみ拾いをしていたのは自分一人ではなかったのだと感動し思わず涙ぐんでしまいました。いつも学校に登校するときに散乱しているごみを目の前にして、拾うことができるのに学校がから、ごみを入れるための袋がないからなどと自分に言い聞かせて、すべて素通りをしてきましたが、やはりそんなことは耐えられなくて。</p> <p>でも自分一人では毎日ごみ拾いをしても、というような思いもあったため、メールをさせていただきました。今はテスト期間中なので、ごみ拾いをするのは自分を今すべきことではないなとも思いますし、両親にも反対されることは分かっているので今はできませんが、テストが終わるのが22日なので、早速22日から私にできるまず身近な、家周辺のごみ拾いをしようと思います。今すぐにも土器川のごみを拾いたいです。が、ごみの量もすごい一人ではできる範囲に限られているので、周囲の人も協力してくれる、週末に土器川でごみ拾いができたらいいなと思っております。道端や自然にごみを捨てることは、そのごみはその場にずっととどまっているのなら少しの害で済むかもしれないけれど、風や雨の影響を受けて、川に流され海に流されていく、そうしたらいくつもの命が失われていく。生き物のなかで感情があるのは人間だけだといいますが、私はどの生き物にも想うことがあると思っています。</p> <p>私たち人間だからこそ起こしてしまう感情や行動をカバーしあうのがこの世の中だと思っています。必ずしも今の世界では、どの動物よりも人間が便利で楽な生活を送っている人数が圧倒的に多いです。私たち人間が笑っている中で、周りの動物たちは白目をむいている、足を引きずっている、息もできない、というような状況でいいのだろうかと思います。人間も全員が全員幸せなわけではないけれど、私は、まず人間を生かしてくれる、周りの生き物たちを第一に考えなければならないと思っています。とは言いながらも、毎日一つ一つの命をわたしは食べていますが、こんなことを考え続けているとゴールが見えない気がして、最近は命に対して考えることをしていませんでしたが、これをきっかけに人間の在り方、ほかの生き物たちとの共存の在り方をもう一度考えてみることにしようと思いました。</p>	生活環境部	環境安全課